

平成 19 年 1 月 26 日 設置（H20.3.19 改組：法定協議会）

新城市地域公共交通協議会

NW 計画策定（フィーダー系統）27 年度 H26.6.12 策定

1. 協議会が目指す地域公共交通の姿

新城市の将来像

ひと 市民がつなぐ 山の湊 創造都市 みなと

第 1 次新城市総合計画（山の湊しんしろ 経営戦略プラン）

（策定：平成 20 年 4 月 計画期間：20 年度～30 年度）

公共交通に関する重点施策

公共交通網の整備と利用向上

主な事業：公共バスの運行、飯田線の活性化

目標：公共交通機関等の充実の満足度の向上

新城市地域公共交通総合連携計画
～山の湊 創造都市を支える公共交通づくりに向けて～
（策定：平成 20 年 2 月 期間：20 年度～29 年度）

基本方針

民間路線バスの撤退や、合併による市域広域化への対応など、これまでの路線維持にとどまることなく、市民にとって満足度の高い新たな公共交通システムの構築を目指す。

★新公共交通システム推進の 6 つのポイント

運行形態・路線網の検討

地域の実情に合わせた運行形態の
採用と乗り継ぎの円滑化

バス関連施設の整備

バス停、乗継拠点、運行案内板など、
バス関連施設の計画的整備

ニーズの把握と反映

乗降調査やアンケートによる利用者
ニーズの把握と、運行への反映

地域・利用者の参画

地域住民・利用者が、計画策定や見直
しに参画できる仕組みづくり

利用しやすい料金体系

市営バス料金の統一と、民間バス路線の
料金体系の構築

積極的な情報提供

鉄道及びバス路線に関するパンフレットの
作成など、積極的な情報提供

新城市バス路線図



2. 計画の達成状況の評価に関する事項

- (1) 利用者数（子供利用分を除いた人数）を算出
- (2) 収支率を算出
- (3) 利用者の満足度を算出

目標値は、26年度実績（H25.10.1－H26.9.30）を基に、利用者及び収支率は1.01倍、満足度は、+0.01を目標値として設定。

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

- (1) 運行形態・路線網の検討

路線名		これまでの取り組み
鉄道	J R 飯田線	
地域間幹線	新豊線	H22.10 一部ルート変更 H27.4 下校時の安全性向上のためバス停を移設 (川田平バス停：地区要望)
	田口新城線	H27.6 路線見直しのためのアンケート調査実施 (中学生・高校生・地区高齢者・利用者) H27.8 調査結果に基づく迂回ルート変更(案)作成 H27.8 実現に向け事業者と協議を開始 H27.9 事業者・設楽町と協議（現行ルート継続を決定）
	作手線	H20.4 増便 H22.10 増便・ルート変更（実証運行）
バス	吉川市川線	H22.4 運行回数変更（冬期）
	中宇利線	H22.4 一部ルート変更 H23.5 一部ルート変更 H28.4 運行時刻一部見直し
	北部線	H20.4 一部ルート変更 H22.4 一部ルート変更 H26.9 一部ルート延長、バス停新設（東新町駅：復路）
	西部線 (地域内 フィーダー)	H20.6 新設（実証運行） H21.4 ルート変更・減便（フリー乗降区間設定） H22.4 ダイヤ変更 H27.6 バス停の新設（川田山田平：地区要望） H28.4 千郷自治振興事務所との協働による路線延長に関する改正案の検討 H28.7 路線延長に関する改正案を関係地域へ説明、意見徴集 H28.9 路線延長に関する関係機関との協議（道路管理者、警察）

		H29.1 路線延長（新設バス停4か所設置）
鳳来地区	四谷千枚田 新城線 （本長篠 海老線）	H27.6 路線見直しのためのアンケート調査実施 （中学生・高校生・地区高齢者・利用者） H27.8 連谷小学校までの路線延長(案)作成 H27.9 路線延長に係る関係機関協議（道路管理者・警察） （10月以降、地元区長及び地区説明会を実施） H28.3 本長篠海老線廃止 H28.4 四谷千枚田新城線運行開始（路線変更）
	布里田峯線	H20.10 路線延長（西保育園～玖老勢） H25.4 バス停新設（ヤナ場、田峯） H27.4 路線延長（鳳来中学校まで：直通便の新設） H27.6 路線見直しのためのアンケート調査実施 （これ以降、本長篠海老線と同時進行） H28.4 路線見直し
	塩瀬線 （地域内 ファイダー）	H20.10 新設（鳳来寺線の代替：実証運行） H27.4 路線延長（玖老勢まで：豊鉄バスへの乗継も考慮） H27.6 路線見直しのためのアンケート調査実施 （これ以降、本長篠海老線と同時進行） H28.4 路線見直し

(2) 地域・利用者の参画

- ①「守り育てる会」の設置
- ②地域自治区制度との連携

(3) ニーズの把握と反映

- ①利用者バス満足度調査の実施

(4) 積極的な情報提供

- ①バスマップの配布

4. 具体的な取組に対する評価

自己評価基準

- A（利用実績及び収支率の達成度が100%以上で満足度数が1.0以上の場合。（ただし満足度数が1.0より小さい場合はB））
- B（利用実績又は収支率の達成度のいずれかが100%を超えた場合。（満足度数が1.0より小さい場合でもB））
- B（利用実績及び収支率の達成度が100%を下回ったが、満足度数が1.0以上の場合）
- C（利用実績及び収支率の達成度がいずれも100%を下回り、満足度数も1.0より小さい場合）

目標値

目標値は、26年度実績（H25.10.1—H26.9.30）を基に、利用者及び収支率は1.01倍、満足度は+0.01を目標値として設定

(1) 利用者数

路線名		自己評価	利用者数(カッコ内は総数)			参考(27年度H26.10.1—H27.9.30)との対比		
			目標値	28年度実績	達成度	27年度実績	増減	
地域間幹線	新豊線	—	—	—	—	—	—	—
	田口	—	—	—	—	—	—	—
	新城線	—	—	—	—	—	—	—
	作手線	A	40,142 人	42,997 人	107%	43,326 人	99%	-329 人
新城地区	中宇利線	B	15,267 人	14,751 人	96%	15,597 人	94%	-846 人
			(51,990 人)	(50,931 人)	(97%)	(54,297 人)	(93%)	(-3,366 人)
	吉川市川線	A	3,067 人	3,497 人	114%	3,417 人	102%	80 人
			(10,339 人)	(10,337 人)	(99%)	(10,617 人)	(97%)	(-280 人)
	北部線	B	4,983 人	3,389 人	68%	4,079 人	83%	-690 人
			(9,607 人)	(6,803 人)	(70%)	(8,082 人)	(84%)	(-1,279 人)
西部線	B	3,882 人	3,209 人	82%	3,480 人	92%	-271 人	
鳳来地区	四谷千枚田新城線	—	—	7,752 人	—	6,319 人	122%	1,433 人
			224 人	620 人	276%	391 人	158%	229 人
	布里田峯線	A	(3,868 人)	(4,254 人)	(109%)	(3,575 人)	(118%)	(679 人)
			1,560 人	1,415 人	90%	1,607 人	88%	-192 人
	塩瀬線	C	(5,779 人)	(5,423 人)	(93%)	(6,298 人)	(86%)	(-875 人)
			3,357 人	2,350 人	70%	2,550 人	92%	-200 人
秋葉七滝線	B	(11,053 人)	(8,519 人)	(77%)	(8,646 人)	(98%)	(-127 人)	
		2,475 人	2,246 人	90%	2,054 人	109%	192 人	
長篠山吉田線	B	(16,320 人)	(17,206 人)	(105%)	(16,290 人)	(105%)	(916 人)	
		作手地区	A	1,948 人	2,505 人	128%	2,236 人	112%
(3,491 人)	(4,687 人)			(134%)	(4,252 人)	(110%)	(435 人)	
つくであしがる線	B	1,193 人	1,176 人	98%	976 人	120%	200 人	
		合計	85,907 人	86,032 人	99%	-125 人		
(163,294 人)	(166,158 人)		98%	-2,864 人				

※利用実績（人）は、子供利用分を除いた人数で算出

評価

高齢者や小中学生の通学を目的として利用され、概ねその役割を果たしたが、乗客数が前年度を2,864人下回った。一部で利用者数が増えた路線もあるが、小中高の通学での利用が増えたものであり、一般利用者数は、減っている。

(2) 収支率

路線名		収支率(%)			参考(27年度H26.10.1－ H27.9.30)との対比		
		目標値	28年度実績	達成度	27年度実績	増減	
地域 間 幹 線	新豊線	—		—	—	—	
	田口新城線	—	—	—	—	—	
	作手線	25.48 %	27.95 %	109%	28.02 %	99%	
新 城 地 区	中宇利線	32.08 %	35.85 %	111%	36.79 %	97%	
	吉川市川線	11.41 %	12.14 %	106%	12.37 %	98%	
	北部線	15.63 %	9.10 %	58%	11.17 %	81%	
	西部線	8.19 %	6.90 %	84%	7.27 %	94%	
鳳 来 地 区	四谷千枚田 新城線	—	—	—	—	—	
	布里田峯線	8.90 %	10.98 %	123%	10.19 %	107%	
	塩瀬線	9.97 %	4.85 %	48%	8.61 %	56%	
	秋葉七滝線	15.48 %	10.16 %	65%	10.80 %	94%	
	長篠山吉田線	31.52 %	27.53 %	87%	30.25 %	91%	
作 手 地 区	守義線	5.78 %	8.90 %	153%	8.59 %	103%	
	つくで あしがる線	3.06 %	2.57 %	83%	2.40 %	107%	

評価

利用者が増えた作手線、吉川市川線、布里田峯線については、収支率がよくなったが、逆に利用者が減った北部線、塩瀬線、秋葉七滝線の収支率が悪くなった。利用者数の増減により、収支率も比例している。

(3) 利用者の満足度

路線名		利用者の満足度数			参考(27年度H26.10.1－H27.9.30)との対比		
		目標値	28年度実績	達成度	27年度実績	増減	
地域 間 幹 線	新豊線	—	—	—	—	—	
	田口新城線	1.04	1.07	+ 0.03	1.05	+ 0.02	
	作手線	1.01	1.00	- 0.01	1.00	+ 0.00	
新 城 地 区	中宇利線	1.08	1.05	- 0.03	1.11	- 0.06	
	吉川市川線	1.06	1.10	+ 0.04	1.15	- 0.05	
	北部線	1.14	1.07	- 0.07	1.08	- 0.01	
	西部線	1.12	1.12	+ 0.00	1.04	+ 0.08	
鳳 来 地 区	四谷千枚田 新城線	1.06	1.05	- 0.01	1.03	+ 0.02	
	布里田峯線	1.04	1.07	+ 0.03	1.09	- 0.02	
	塩瀬線	1.05	0.98	- 0.07	1.14	- 0.16	
	秋葉七滝線	1.06	1.10	+ 0.04	1.17	- 0.07	
	長篠山吉田線	1.09	1.04	- 0.05	1.06	- 0.02	
作 手 地 区	守義線	1.16	1.14	- 0.02	1.12	+ 0.02	
	つくで あしがる線	1.20	1.15	- 0.05	1.19	- 0.04	

※ 満足度数は1.0を基準値（普通）とし、0.8～1.2の範囲内で数値が高いほど満足度が高いことを示す。

評価

田口新城線、吉川市川線、布里田峯線、秋葉七滝線の満足度は、よくなったが、北部線、塩瀬線、つくであしがる線、長篠山吉田線の満足度は、低くなった。

満足度の高かった項目は、ルート経路がよいことや、バス停の位置がよいことが多く挙げられているが、逆に満足度の低かった項目は、運行ダイヤ(時刻表)がよくないことや運行回数少ないことが多く挙げられていた。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

(課題) バス利用状況の把握と今後のバスについて

平成28年度のバス利用者は、前年度を大きく下回った。広大な地域に点在する高齢者の通院・買物や、小中学生の通学的手段としては公共交通は不可欠なものであるが、人口減少が続く本市では、大幅な利用者数の増加を見込むことは容易ではない。

(対応方針)

利用者の増加をはかるため、「地域自治区制度」における自治振興事務所との連携を図ること及び「守り育てる会」の開催を行い、地域ごとのバスへの要望を確認しつつ、ダイヤ改正等を行っていく。

新城名古屋高速バスの利用者の増も必要な課題であり、お出かけマップの配布、定期券・回数券の発行、新たなバス停設置を検討し、新城への来訪者を増やす。

新城市地域公共交通網形計画を策定し、バス利用者が利用しやすい地域公共交通の実現を図る。